

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 66 号	平成 26 年 3 月 7 日	伊予市役所	市民福祉部 福祉課
題 目 (テーマ) : 障害者に配慮した町づくりの総合的な推進について			
提 案 内 容 (要 旨)			
<p>1 福祉・医療施設の市街地における適性かつ計画的な立地、生活拠点の集約等によりバリアフリーに配慮し障害者が安心・快適に暮らせるまちづくりを推進する。</p> <p>2 バリアフリーに基づき市町村が定める重点整備地区内の旅客施設周辺の主要な生活連絡経路(駅、官公庁施設、施設、病院等を相互に連絡する道路)において、公共交通機関等のバリアフリー化を連帯しつつ、幅の広い道路の整備や無電柱化を推進すること。</p>			
回 答 内 容			
<p>設問 1</p> <p>ご提案のとおり、市街地において、バリアフリーに配慮した福祉・医療施設が計画的に建設され、周辺地域からの移動手段等が整備されれば、障害者をはじめだれもが安心して暮らせる街の実現になると思います。</p> <p>伊予市では、既存施設を有効活用しながら、老朽化した施設の建て替えや、市民のニーズに応じて効率的なサービスが提供できるように新たな公共施設を整備に取り組んでおります。</p> <p>現在、市民の皆様のご意見を聞きながら、市庁舎・図書館・福祉センターの建て替えを進めています。すべての施設には、ユニバーサルデザインを基本とし、市民の皆様に満足いただけるように、行政サービス機能が最大限発揮できるような運用・活用方法を検討しております。</p> <p>ご提案の施設の集約化という面では、立地条件等の制約があるため、ご不便をおかけすることとなると思いますが、限られた土地を有効利用するため、一層のご理解を賜りますようお願いいたします。</p> <p>設問 2</p> <p>J R 伊予市駅や郡中港駅前周辺、町家など伊予市の中心市街地では、関係機関と連携しながら、歩道のバリアフリー化や多目的トイレの設置など、高齢者や障害者に配慮したまちづくりを進めています。</p> <p>公共交通機関も車椅子の方が安心して電車に乗降できるように、人的支援や、駅構内の整備等が実施されています。</p> <p>道路整備や電柱の無電柱も必要な事項であれば、市としましても、関係機関に積極的</p>			

に要望して参りたいと考えております。

設問3

交通安全協会を所管する警察庁では、障害者が安全に車を運転し、また交差点を歩行できるように、LED（発光ダイオード）式の信号機に順次に取り替えています。最近では、市役所前交差点が、歩行者に優しい歩車分離交差点となりました。

設問2と関連しますが、今後も障害者に配慮した町づくりを推進するため、皆様のご意見を聞き、関係機関と連携しながら施策等推進して参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いします